

【屈服調教】マッチョ警備員による浴室侵入
～両手首を押さえつけられ、無理矢理イカされる快楽調教記録～

サンプル（一部抜粋）

「.....開けますよ。」

（浴室のドアを開ける音・叫び声）

「失礼、インターホンに応答が無かったので。」

「...無事ですか？
警備の者ですが.....確認の為」

「そんな無防備な格好を見せられても困ります。
...急いで胸を隠していますが...隠しきれいていませんよ。」

「隙だらけなんですね。
そんなに隙だらけだと、本当に不審者が来た時...襲われてしまいますよ？」

（手首を掴む音）

「...どうしました？
びくとも動きませんが。」

「そうやって暴れれば暴れる程...
制圧しやすくなるんですよ、こんな風にね」

（両手首を片手で掴み、壁に押し付ける音）

「ほら、もう抵抗できない。」

（無線の音）

「...しーっ。静かにしてくださいね？
じゃないと、センターにあなたの淫らな声が響いてしまいますよ」

「（無線に出る）はい。301号室、今住人の話を聞いている最中です。」

「...忘れていませんか？
あなた、僕に襲われてるんですよ？」

「無防備な姿で僕を誘って...護身術があるだなんてくだらない事を言って...
そのくせ快楽に抗えない...」

「その浅はかさに対する罰ですよ。これは。」